

小規模企業景気動向調査

[2020年10月期調査]

～5か月連続で全業種改善も、コロナ禍前の水準には程遠い小規模企業景況～

2020年12月3日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2020年10月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…5か月連続で全業種改善も、コロナ禍前の水準には程遠い小規模企業景況…◇

10月期の小規模企業の業況DIは、全業種で5か月連続の改善となったが、未だ、学校休業要請のあった2月期の水準に届いていない。GoToTravelキャンペーンや各地でのプレミアム商品券の発行等の景気刺激策の効果により、消費者の動きが徐々に戻りつつあり、全体的には、経済活動が回復基調にある。しかし、感染防止対策を実施しながらの事業活動であることから、業況はコロナ禍前の水準には程遠い。回復基調ではあるが、先行き不透明の中で、今後の感染拡大を懸念する声や支援策の継続を求める声も多く、期待と不安が交錯するコメントが目立った。

＜製造業＞ ◇…回復基調も、業種・地域等により明暗が分かれた製造業…◇

製造業は、5か月連続で全DIが改善した。食料品関連は、引き続き、巣ごもりで内食需要が堅調であり、飲食店や観光施設等向けの外食需要も、GoToキャンペーン等の効果により、回復傾向にあるため、業況が好転している。一方、機械・金属関連の一部では復調しているとの声があるものの、依然として、国内外の需要停滞や生産調整が続いており、厳しい状況との声も多く見られた。また、繊維関連は、マスクや防護服等の売上は好調であるものの、全体的には取引規模の縮小等により、業況DIが悪化に転じる等、厳しい状況が続いている。

＜建設業＞ ◇…全体的に回復基調も、先行き不安な建設業…◇

建設業は5か月連続で全DIが改善し、資金繰りDIは10ptを超える改善となった。休止となっていた民間の住宅・設備関連工事が動いていること、公共工事の発注が順調であることに加えて、一部地域では災害復旧工事が継続していること等、力強さはないものの、安定的に回復しつつある。しかし、一部では消費者心理や投資意欲が冷え込んでいる中、資材価格の高騰や人材の確保難もあり、先行きを懸念するコメントが目立った。

＜小売業＞ ◇…再び回復基調に戻るも、力強さに欠ける小売業…◇

小売業は、停滞から一転、売上額・資金繰りDIは大幅に、採算・業況DIも小幅ながら改善した。食料品関連は、内食向けは、巣ごもり需要が堅調であり、また、GoToキャンペーンの効果により人の動きが出てきたため、外食向け需要も回復傾向にある。衣料品関連は、外出機会が増えているため、売上が大幅に回復したものの、厳しい状況である。耐久消費材関連は、各種景気刺激策等の効果により好調という声がある一方、通信販売や大型量販店での購入の増加に伴い、地域の小売店の売上は減少傾向とのコメントがあり、業況DIもわずかな悪化に転じた。

＜サービス業＞ ◇…宿泊業が好調で、2月期の水準を回復したサービス業…◇

サービス業は、全DIで5か月連続で改善し、業況DIは2月期の水準を回復した。理美容業は、外出への抵抗が薄れつつあるため、引き続き、回復基調にある。宿泊業は、GoToキャンペーン等の効果もあり、前月の改善幅には及ばないものの業況DIが17.1ptの改善となった。しかし、修学旅行等の団体客は少なく、また、高級宿泊施設に需要が集中し、低価格な宿泊施設には恩恵が十分に及んでいない状況が続いている。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、客足が大きく左右されるため、先行きが不安との声が多く見られた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 54.9	▲ 46.3	8.6	▲ 62.6	▲ 56.0	6.6	▲ 44.8	▲ 36.6	8.2
採算	▲ 51.8	▲ 47.5	4.3	▲ 60.2	▲ 56.6	3.6	▲ 42.8	▲ 39.9	2.9
資金繰り	▲ 52.5	▲ 44.9	7.6	▲ 56.9	▲ 49.7	7.2	▲ 48.0	▲ 37.5	10.5
業況	▲ 55.4	▲ 49.7	5.7	▲ 65.5	▲ 58.8	6.7	▲ 45.6	▲ 40.5	5.1

業種	小売業			サービス業		
	9月	10月	前月比	9月	10月	前月比
売上額	▲ 53.0	▲ 45.2	7.8	▲ 59.1	▲ 47.6	11.5
採算	▲ 51.9	▲ 48.5	3.4	▲ 52.5	▲ 45.3	7.2
資金繰り	▲ 52.4	▲ 45.7	6.7	▲ 52.7	▲ 46.9	5.8
業況	▲ 55.6	▲ 51.3	4.3	▲ 54.7	▲ 48.2	6.5

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

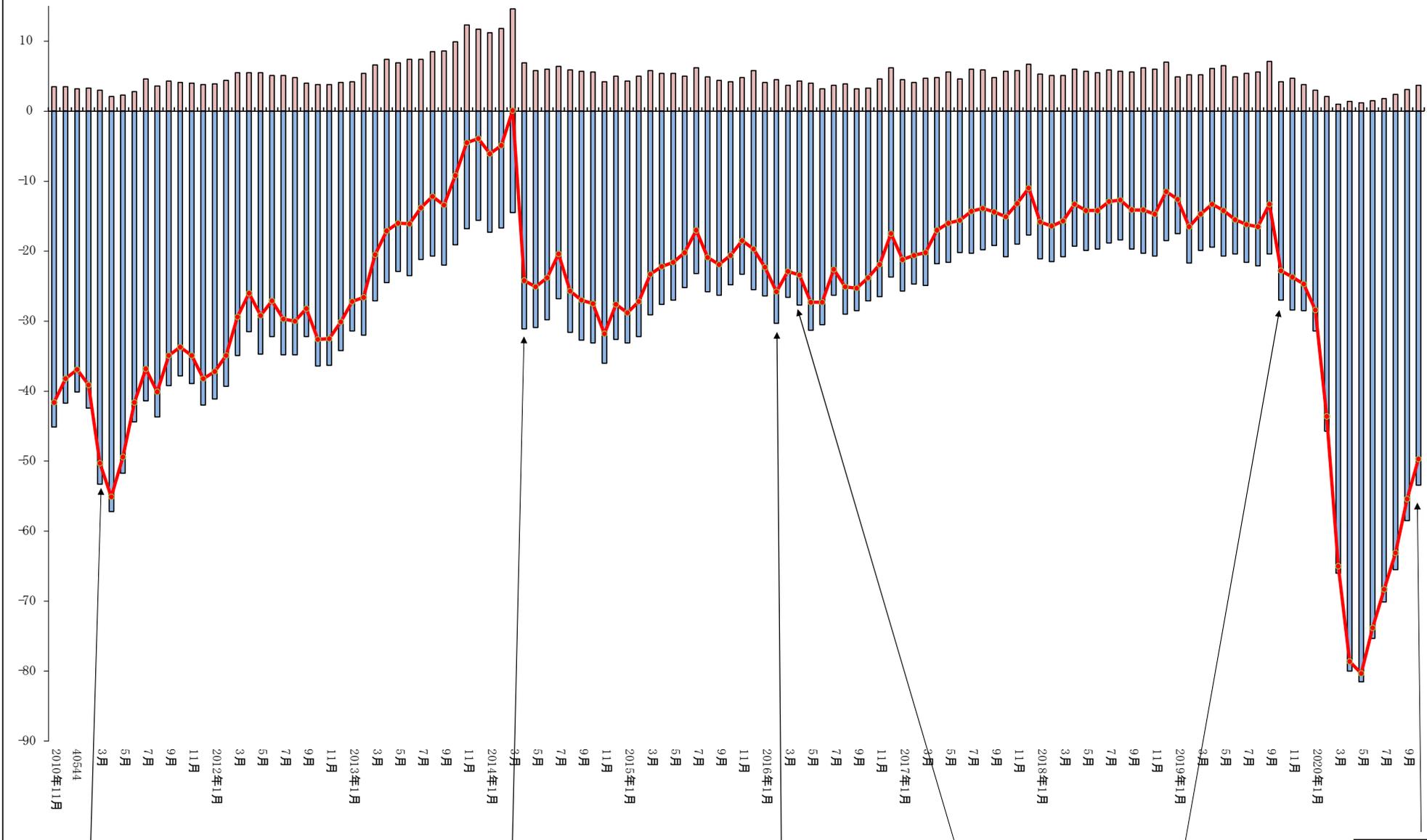
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:牧

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



11年3月
東日本大震災
(-50.3)

14年4月
消費税8%に引上げ
(-24.2)

16年2月16日
日銀マイナス金利導入
(-25.8)

16年4月
熊本地震(-23.4)

19年10月
消費税10%引上げ
(-22.8)

20年10月
(-49.7)

小規模企業景気動向調査(10月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・依然として新型コロナウイルスの影響は事業者に大きな悪影響を与えている。しかし、GoToキャンペーンのスタートや各事業所のコロナウイルスへの対策が普及したことに加え、国民の意識が少しずつ外に出る方向に変わってきていることから、以前ほどの絶望的な状況からは少し抜け出しているように感じる。マスクの着用やアルコール消毒などの感染防止に向けた取り組みや意識付けが国民に根付き始めていることから、外食や買い物、レジャーなどに人々が出始めているためではないだろうか。

(八百津町商工会)

・市内動向は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、個人消費は、緩やかに持ち直し傾向を維持している。月度では、緩やかではあるがヒトの動きが戻りつつあることから、総じて景況感は改善傾向に向いている感じがある。生産活動も持ち直し傾向がみられているものの、一部では一進一退の事業所もあり、今後の経済活動の活発化が望まれる。先行き感については、感染症の影響が続くなかで、Go Toキャンペーンなどによる大規模な各種政策による経済対策の効果を期待している一方で、冬期に向けての感染の再拡大を不安視する声も多い。

(川西市商工会)

・国・自治体等による消費喚起政策を契機に活気が取り戻しているようではあるが、回復したとは言えず、引き続きの支援策を希望されている。

(神石高原商工会)

・全体的には、GOTO関係により若干、景気が上向き傾向にある。

(川上商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・巣ごもり需要により食品や生活必需品は安定的に推移しており、観光、飲食関連もGoToキャンペーンが好調でかなり客が戻って来た。ただ、他の業種を含めて総合的に言えることは、新型コロナウイルス感染症の終息への動きが今後のカギを握っている。

(寺泊町商工会)

・コロナ禍の馴れもあるのか、一般消費者の動きは徐々に戻りつつあるが、コロナ対策を講じながらであるため、対前年までは戻っていない。また、引き続き、業界によっては人手不足が顕著であり、募集をしても集まらない現状が常態化しており、業務が滞っている。

(富山市南商工会 婦中支部センター)

・先日も浜松でクラスター感染が出ており、どの業種も年末に向け繁忙期に入るが、経済と感染対策のバランスが難しい。

(御前崎市商工会)

・国、県、市の支援策が本格的に始まり、仕事や取引量がコロナ前に戻りつつある事業所が増加している。一方で、徐々に県内のコロナ感染者がまた増え始め、経済に与える影響を不安視する声もある。

(東近江市商工会)

・全体的には売上が回復途中にあると思われるが、地域内にコロナ感染者が発生すればたちまち厳しい状況に戻るので気の抜けない状況が続いている。

(伊佐市商工会)

2. 製造業

・GoToトラベル事業の影響により観光客が増加し来店者数、売上ともに増加。紅葉シーズンは近隣からの観光客が増加し昨年同時期より売上増加となった。

(玉造商工会)

・生産活動は、電子部品や自動車部品、工作機械部品など、10月期においても、ゆるやかではあるものの、上向き傾向に動き出しているところが多いが、一部では生産が下振れするなど一進一退の事業所もある。ただ、全体的に大きく回復しているとはいえず、市内の小規模事業者にとっては、小幅な回復基調にとどまっており、依然として厳しい経営環境の中にある。先行きについては、国内消費の喚起施策により、生産活動が平常化に向くことを期待している声が多数である。

(川西市商工会)

・食品製造業においては、洋菓子店向けの製品に動きが出た。GOTOトラベルの影響か、季節的な製品の動きも加味して売上が少し回復してきた。機械製造業においては不変の状況である。

(えびの市商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

・自動車関連の部品製造業（日産系）はコロナ影響で世界的な自動車生産・販売の減少が響き、生産調整で減産・休業がつづき、下請けメーカーに影響が出ており、回復は見通せない状況になっている。

（大磯町商工会）

・織物製造関連の事業者は、コロナウイルス感染症の影響で輸出物が動かず、稼働率が悪くなっている。取引先の商社が在庫を積んでいるので、大幅な減少とはなっていない。

（能登鹿北商工会）

・食料品関連の製造業は、Go To トラベル キャンペーンや個人観光客の近隣観光の復調により前年比8割以上の売上確保で復調傾向。今後の一層の回復に向け期待感が高い。繊維工業関連の製造業は、需要の低迷に加えてコロナウイルスの影響を受け、厳しい経営が続いている。下請け企業も打撃を受けており、以前休業等を実施している状況。機械金属関連の製造業は、国内向けは90%近く回復しているが、海外向けの動きは今一つ。雇用調整助成金は12月末まで利用予定。

（中部商工会産業支援センター）

・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生産活動は弱めの動きとなっている。自動車関連業種は需要が回復基調にあり持ち直しつつある。生産用・業務機械等製造業種は、国内外の需要停滞により低調な生産である。木材は、感染症の影響が薄らぎ堅調に推移している。

（雲南市商工会）

・食料品製造業はやや減少のまま横ばい、繊維工業は取引先の取り扱い規模が大きく減少しているため低下のまま横ばい、機械金属製造業は回復の兆しがあるものの将来的な見通しは不明とのコメントが寄せられている。

（宇美町商工会）

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

・建築関連の事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響で日伸びになっていた作業を開始したため、少しずつ、売上回復してきている。

（呉広域商工会）

・コロナ禍で停滞していた受発注が再開しており、民需を中心に堅調。公共工事も災害復旧需要が出ており、作業員不足がみられめほど堅調。

（かのや市商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

・停滞していた受注工事の再開が見られているものの、材料供給が一部不安定であったり、作業状況も3密対策が必要になるなど進み具合が遅くなるなど、コロナ禍の影響が完全には払しょくできていない状況が継続している。受注数の減少により、売上の大きな回復には至っていない。住宅関連においても、前月に続き、少しずつではあるが、顧客との商談・販売も動き出してきている。先行きについては、冬期に向けて、コロナウイルス感染の再拡大に対しての

（川西市商工会）

・工事業全般に、工期の遅れや工事再開の見通し不透明な状況が依然として続いており、受注確保・資金繰りに苦慮する事業者が多く存在している。

（岡山北商工会）

・材料の調達、雇用の関係、コロナの影響により、受注ペースで工事が動いており、工期の短縮は難しい状況。

（柳川市商工会）

・業務が繁忙している事業者もいるが、一般消費の減退等の影響により今後の受注工事の見通しに不安を抱えている面もある。

（福津市商工会）

・建設関連の事業者は、コロナウイルスの影響による景気低迷の影響を受け、受注難、資材の調達難、人出不足の状況が続いており、相対的に売上が減少している事業者が多い。

（南九州市商工会）

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

・外食産業が好転してきているので食料品売り上げは伸びている。Gotoキャンペーンにより外出機会が増えることで、衣料品の売上高も回復中。

（姫路市商工会）

・衣料関連の事業者は、少しづつお客様の外出が増えてきたため、売上回復しつつある。

(呉広域商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

コロナ禍の影響により衣料品小売への影響は大きい。食品関連も巣ごもり特需は大型店やドラッグストアーに流れ、小規模店は厳しい状況。耐久消費財の家電では順調な売上を維持したが、支払いでの掛け売りが増え資金繰りが苦しい。

(坂井市商工会)

・衣料品小売業の消費マインドは、外出は少しづつ回復傾向にあるものの依然自粛傾向もあり、リモートワーク等の新しい生活様式の中で、需要の低迷が続いており厳しい状況。食品小売業についても、運動会や文化祭等の自治会などのイベント中止の中で団体注文等が低迷。飲食業については、GoToEAT等で若干戻りつつあるもの、利用は主に大手チェーン等が主流で、小規模飲食店等の景況回復迄には至っていない。耐久消費財については、通販等の需要は順調で特に大きな変化は見られない。

(瀬田商工会)

・食料品関連の小売業は、顧客数が減少してきている。全体的に売上減少。衣料品関連の小売業は、人口減、高齢化に伴い、顧客数が減少してきている。若年層は町外に買い物に出て行き、新規顧客獲得も難しい状況。また、大手スーパーや量販店の影響も大きい。耐久消費財関連の小売業は、高齢化、人口減の影響により需要が少なくなっている。また、大型店の影響も大きい。

(串本町商工会)

・飲食小売業の売上は安定している。ただ、耐久消費財についてはネット購入者の増加と大型量販店の一人勝ちの傾向が強く、地域の小売店の売上は大きく減少している。

(日高村商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・旅館業及びクリーニング業では、人の移動が活発になつたためか、前年よりも若干の売上増となっている。理容業においては、変化なし。

(枝幸町商工会)

・理美容に関しては、コロナ禍前半からすると持ち直している。

(吉田三間商工会)

・コロナウイルスの影響もあり、消費者が外出を控えていることもあり、来店頻度の減少など、サービス業全般において売上減少が続いている。しかしながら一方で、国・県・市などの積極的な施策の活用で、徐々にではあるが状況が回復傾向に向かっているように見受けられる。

(南九州市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・理美容業は来店サイクルが伸びており個人店では売上に波があるが客数も戻りつつある。旅館業はgototラベルの恩恵を十分に受けられておらず、大手事業者との格差が浮き彫りになっているとの声もある。

(西東京商工会)

・旅館業はGoToトラベルの影響で一般客の需要は少しづつ回復しつつあるも、修学旅行等団体客の需要が回復しておらず、引き続き厳しい状況。洗濯業も新しい生活様式の中で、外出減少や自宅で洗濯する傾向が定着しつつあり、回復には至らず厳しい状況である。理美容業についても、これまでの来店サイクルのスパンが伸びて、来店回数が減少傾向にあり売上は落ち込んでいる状況にある。

(瀬田商工会)

・gotokキャンペーンの効果もあり予約、問い合わせが増えている。しかしながら今後のコロナの状況によってはどうなるか分からない状況であり先行き不透明である。

(与謝野町商工会)

・宿泊業についてはGOTOトラベルにより、価格帯の高い旅館については来宿者数は回復基調となっている。価格帯の低いゲストハウスなどは依然として厳しい状況が続いている。

(岩美町商工会)

・コロナの影響で、利用が減少しており、売上は大幅に減少している。先行きが不透明で不安である。

(浅口商工会)